

デュピュイトラン拘縮

手のひらがひきつれて、指が伸びなくなっていますか？

● 症状 ●

手のひらから指にかけて硬結（しこりやこぶのようなもの）ができ、皮膚がひきつれて指が徐々に伸ばしにくくなります。環指や小指に多く見られますが、他の指や足の裏にもできることがあります。痛みはあまりありません。



日本手外科学会HP「手外科シリーズ」より抜粋

- ・ 高齢者
- ・ 男性
- ・ 糖尿病の方に多いとされています。

再発することが多く
若い方（50歳代）は特に注意が必要です。



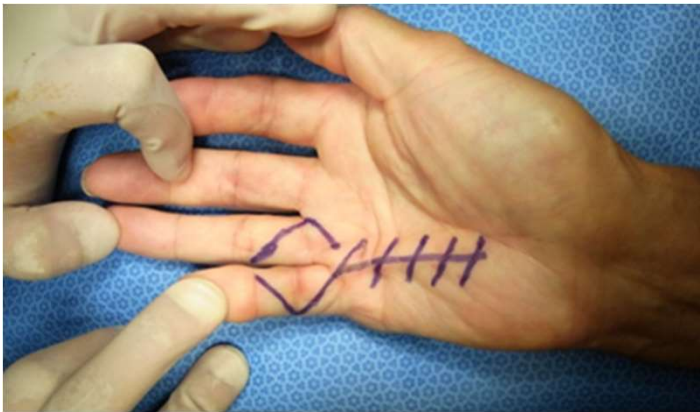
指にしこりやこぶができて皮膚が引きつれて指が伸びなくなります。



- ・ 薬指・小指に発症することが多いです。
- ・ 第2関節（PIP関節）、付け根の関節（MP関節）ともに発症しますが、小指の第2関節については、伸展が得られにくいです。

デュピュイトレン拘縮に対する手術

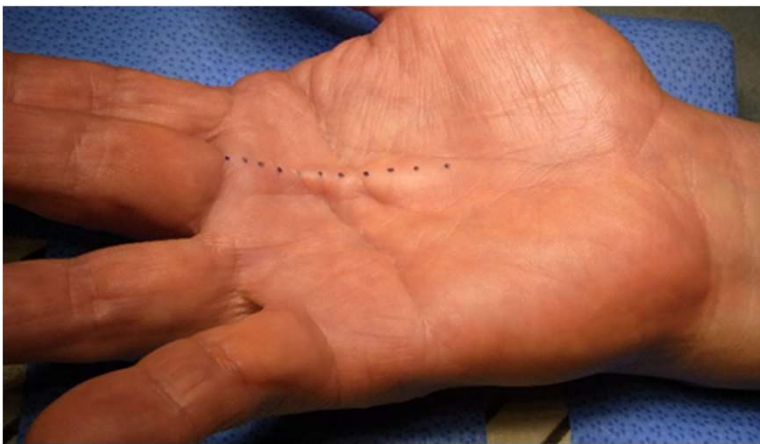
①部分腱膜切除術 手術で拘縮索を確実に切除します。



MP関節、第2関節いずれの病変にも適応となります。拘縮索を切除でき、再発率を低くできます。

創部の抜糸に2週間程度を要します。術後の腫脹が出るために、リハビリが必須です。

②経皮的腱膜切開術 注射針で拘縮索を切り、指を伸ばします



皮膚に少量の麻酔薬を注射し注射針で拘縮索を切断します。

MP関節の細い拘縮索のみ施行可能です。

拘縮索は切除できず、手のひらに残ります。

術翌日より手を洗えます。

術後の腫脹は少なく、定期的なりハビリは不要です。